



WELLNESS
COMMUNICATIONS



健康データ取得・活用における 健康管理システムの役割と業務改善手法

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

クラウド営業第3部 ヘルスケア営業課 赤尾 長信

ウェルネスコミュニケーションズ株式会社

法人営業本部 営業第1部1課 佐野 元紀

2024/12/11

アジェンダ

- ◆ **健康経営優良法人認定の評価結果から学ぶ、データ取得の重要性**
- ◆ **集めた健康データをどのように活用するか**
- ◆ **本質的な健康管理を行うための業務改善手法**

FY24 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 会社概要

CTCは、伊藤忠商事グループのIT総合企業です

会社名	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（略称 CTC）	
英文社名	ITOCHU Techno-Solutions Corporation	
本社所在地	〒105-6950 東京都港区虎ノ門4-1-1 神谷町トラストタワー TEL：03-6403-6000（代） URL：http://www.ctc-g.co.jp/	
代表者	代表取締役社長 新宮 達史	
創立	1972年（昭和47年）4月1日	
設立	1979年（昭和54年）7月11日	
資本金	21,764百万円	
社員数	単体：5,019名 連結：10,120名	健康支援室17名で対応

事業内容 コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、ソフトウェア受託開発、
情報処理サービス、科学・工学系情報サービス、サポート、その他

2024年4月1日現在



神谷町トラストタワー



健康管理システム
Growbaseの正規代理店
販売・保守・運用サポートなど対応

社名	ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社 〔英名：Wellness Communications Corporation〕
設立	2006年 7月 3日
所在地	(本社) 〒107-6014 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル (大阪事務所) 〒541-0059 大阪府中央区博労町4-5-9 本町太平ビル
資本金	4 億円
株主	SOMPOホールディングス株式会社 LHP Holdings, L.P. (ロングリーチグループ関連会社) 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 株式会社ベルシステム24ホールディングス 伊藤忠商事株式会社 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）との取り組みについて

2017年販売代理契約を締結。以降健康管理クラウドGrowbaseの販売を中心にパートナーとしてタイアップ。

健康経営優良法人認定の評価結果から学ぶ データ取得の重要性

健康経営度調査においてデータで示すべき調査項目数について

- 令和6年度健康経営度調査票の質問数は、全部で74項目
- そのうち、健康経営度評価の対象となる質問項目は、全部で55項目
- データ提示が必要となる項目は、全部で22項目

④ 評価の詳細分析

側面	項目	対応Q番号
経営理念・方針	明文化・社内浸透	Q17
	情報開示・他社への普及	Q18、Q19、Q21、Q22
組織体制	経営層の関与	Q24、Q25
	実施体制	Q26、Q27、Q28、Q30、Q31
	従業員への浸透	Q32、Q33、Q34

制度・施策実行	目標設定、健診・検診等の活用	Q35、Q36、Q37、Q38、Q39
	健康経営の実践に向けた土台づくり	Q40、Q41、Q42、Q43、Q44、Q45、Q46、Q47、Q48、Q49
	保健指導	Q50、Q51、Q52
	生活習慣の改善	Q53、Q54、Q55、Q64、Q65
	その他の施策	Q56、Q57、Q58、Q59、Q60、Q61、Q62、Q63
評価改善	健康診断・ストレスチェック	Q66、Q67、Q68、Q72
	労働時間・休職	Q69、Q70、Q71
	課題単位・施策全体の効果検証・改善	Q73、Q74

今年度からは
「制度・施策実行」
の項目が重視される傾向

評価対象の約**30%**で
データ開示が必要

今年度の改定により特に重視されるようになったポイント

- 健康経営度調査の評価において、健康経営の可視化と質の向上をより重視する傾向
- 経営層の関与頻度を重視し、またプロセス(計画)よりもアウトプット(結果)をより重視する傾向

- 今年度施策の方向性を踏まえ、健康経営度調査及び申請書においては、下記事項を改訂する。

1 健康経営の可視化と質の向上

- 【大規模】PHRの活用促進（新設）
- 【大規模】40歳未満の従業員に関する健診データの提供
- 【大規模】質の向上に向けた意識醸成（配点バランスの修正）
- 【大規模】柔軟な働き方の促進（小項目追加）
- 【中小規模】プライト500申請法人フィードバックシート公開
- 【中小規模】新たな顕彰枠の拡大

アウトプット指標のみへの配点とする設問

- Q38 受診勧奨
- Q39 ストレスチェック
- Q41 健康保持・増進に関する教育
- Q48 コミュニケーション促進
- Q53 食生活改善
- Q54 運動習慣の定着

1 質の向上に向けた意識醸成

大規模

- 健康経営が持続的に効果を生むためには、**取組の意義や質の向上への意識を常に持続させることが重要**。また限られたリソースを効果的に投資していく必要がある。その意識を高めるため、以下2点について調査票の配点バランスを修正したい。

配点バランス修正方針 案

1

配点全体を見直し、**健康経営推進に重要な設問に重みを付ける**
(経営レベルの会議等)

2

自社の状況を把握した上で、結果・成果を意識した取組を推進するため、**プロセスの多寡ではなく、アウトプット指標側への配点を高める**

健康経営度調査申請書に記載のある具体的な質問の中身の例

★ Q41. 従業員の健康意識の向上を図るために、健康保持・増進に関する教育をどのように行っていますか。（いくつでも）

- ◆eラーニングやウェビナー等での実施を含みます。
 - ◆啓発書類の配布・イントラ掲示やメルマガ配信等、単なる情報提供は除きます。
 - ◆仕事と育児・介護の両立、保健指導、女性の健康課題、たばこに特化した教育は除きます。
- Q45、Q47、Q52、Q56、Q64でご回答ください。

☐	1 研修・セミナーを実施している
☐	2 心身の健康に関する検定等の受講・取得支援を実施している（対象期間中に支援実績がある場合のみ）
☐	3 特に行っていない ⇒Q40(a)、Q40(b)も非実施の場合、評価項目不適合

SQ1.（Qで「1. 研修・セミナーを実施している」とお答えの場合）どのような内容の教育を行っていますか。（いくつでも） また、そのうち特に重視しているものを1つだけお答えください。

◆当設問は評価に使用しません。

☐	1 メンタルヘルス	☐	2 がんの予防
☐	3 運動奨励	☐	4 食生活・栄養
☐	5 睡眠	☐	6 片頭痛・頭痛
☐	7 肩こり・腰痛	☐	8 目の健康（ドライアイ等）
☐	9 歯と口の健康	☐	10 メタボ対策
☐	11 感染症対策	☐	12 転倒予防
☐	13 その他		

特に重視：☐

SQ2.（Qで「1. 研修・セミナーを実施している」とお答えの場合）SQ1で回答の特に重視している教育について、2023年度の対象人数、参加・実施人数はどの程度ですか。

- ◆複数回実施している場合は、延べ人数ではなく実人数でご回答ください。
- ◆2024年度から始めた場合は、2024年度の実績でご回答ください。
- ◆比率は小数点第2位を四捨五入でご記入ください。
- ◆参加者比率を把握していない場合、不適合となります。
- ◆Q6で選択肢1～3を選択している場合、それぞれの場合に応じて、当設問へのご回答を公開する予定です。

	2023年度	
(a) 対象者の比率		%
※全従業員に占める対象者の割合		
★(b) 参加者の比率		%
※対象者に占める参加者の割合		

重要教育施策に対して

- ・対象人数
 - ・参加/実施人数(率)
- を具体的に示すことが求められる。

つまり、計画や企画するだけでなく、
「ちゃんと企画実行して結果出たの？」

ということが、より重視される配点になった。

それを示すために、何らかの形で企業は適切に
データを取得、分析する必要性が高まっている。

集めた健康データをどのように活用するか？

集めた健康データをどのように活用するか？

◆ IR開示情報への活用

- 定期健診受診率、適正体重維持、喫煙率、定期健康診断(要再精検、再受診者)、特定保健指導参加率

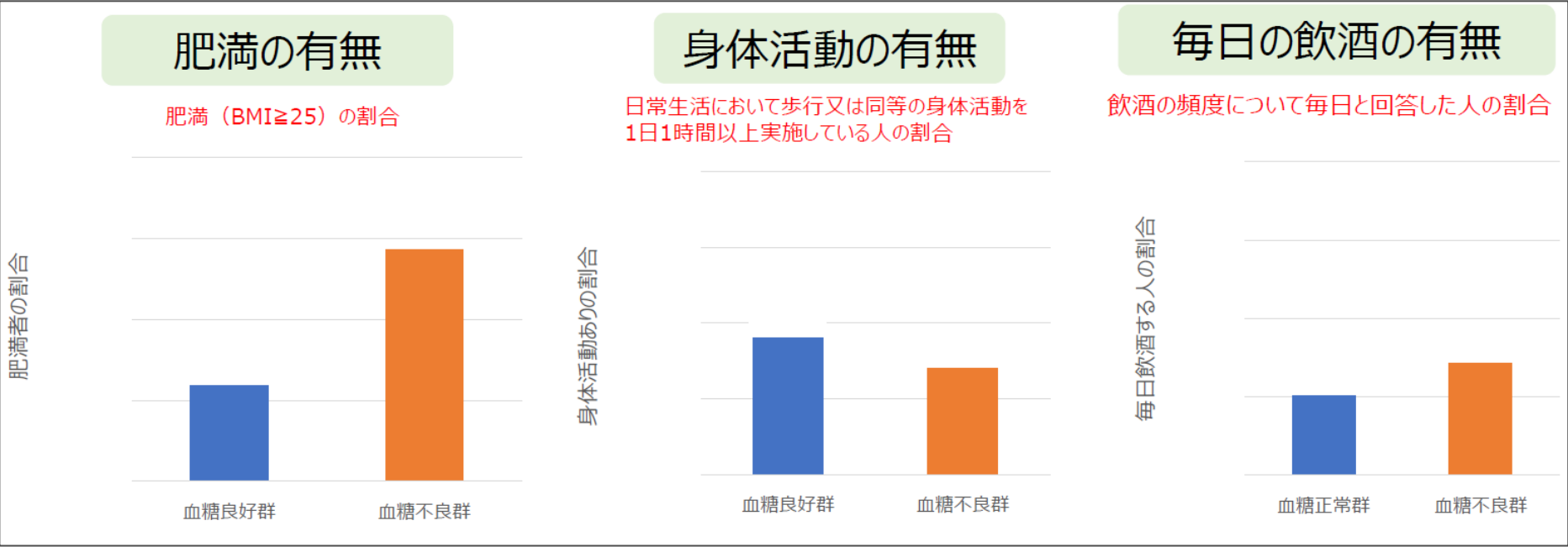
項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
定期健康診断受診率	%	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0	99.9
運動習慣者 ※8	%	18.7	18.9	19.8	21.6	24.0	26.1
日常的な身体活動実践率 ※9	%	—	44.2	47.0	31.6	28.4	30.4
適正体重維持者	%	69.4	69.2	67.8	66.4	66.6	66.4
喫煙率	%	27.5	26.2	24.3	22.9	21.8	21.4
定期健康診断(要再精検・要受診者)	%	49.9	50.8	50.5	56.1	55.6	53.8
特定保健指導参加率	%	—	—	43.4	61.2	63.0	2023秋集計
主観的健康感 ※10	%	—	81.2	78.8	82.6	80.4	81.0
主観的パフォーマンス ※11	点	—	5.83	5.92	5.79	5.97	6.52
働きがいがある ※12	%	74.1	73.2	73.1	77.3	75.6	75.3
こころの健康診断受診率	%	89.9	87.3	86.6	87.2	83.2	95.6
高ストレス者割合	%	9.4	9.7	9.3	7.8	8.6	8.0

集めた健康データをどのように活用するか？

◆ 自社の健康課題分析と健康経営推進のためのKPI設定への活用

◆ 各種生活習慣と健康課題の相関分析への活用

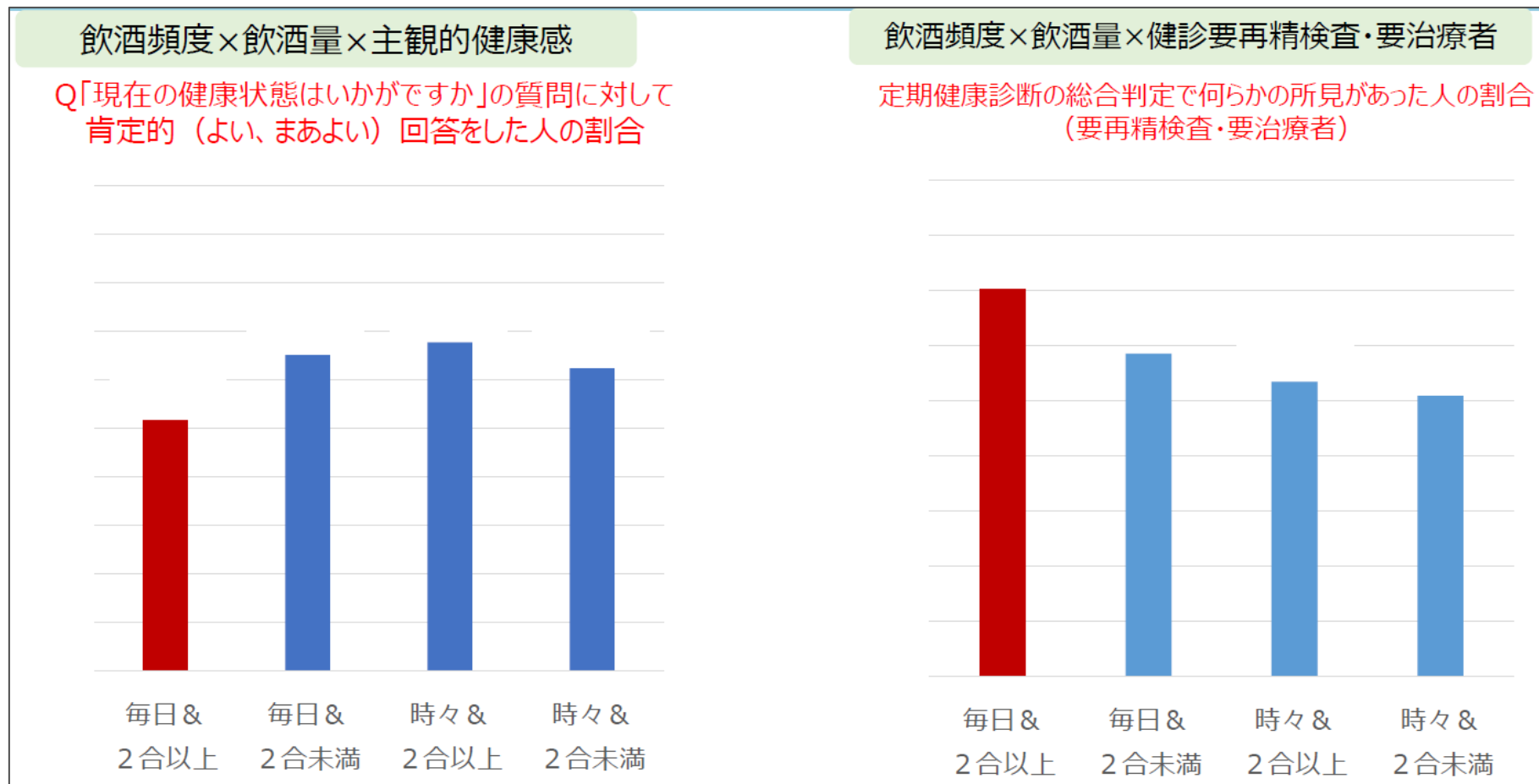
「血糖値」×「肥満」／「血糖値」×「生活習慣」



日常的な身体活動や適正な飲酒、肥満予防が、糖尿病や合併症予防につながる
良好な生活習慣を送ることが重大な病気の予防や健康維持のカギ

集めた健康データをどのように活用するか？ 各種生活習慣と健康課題の相関分析への活用

「飲酒習慣」と「心身の健康」

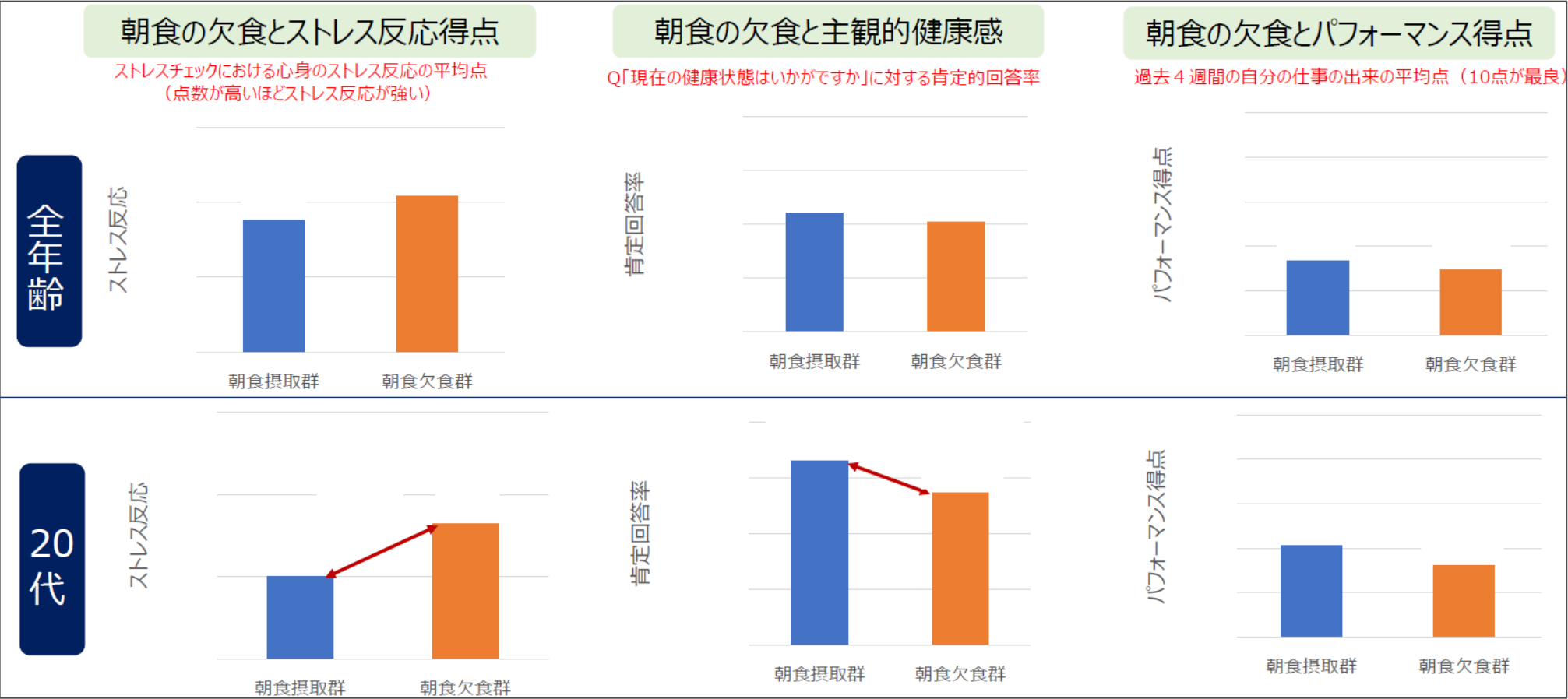


毎日2合以上飲酒群の主観的健康感の割合が最も低い

定期健康診断結果でも、毎日2合以上群とそれ以外の群との要精密検査率の差が大きい

集めた健康データをどのように活用するか？ 各種生活習慣と健康課題の相関分析への活用

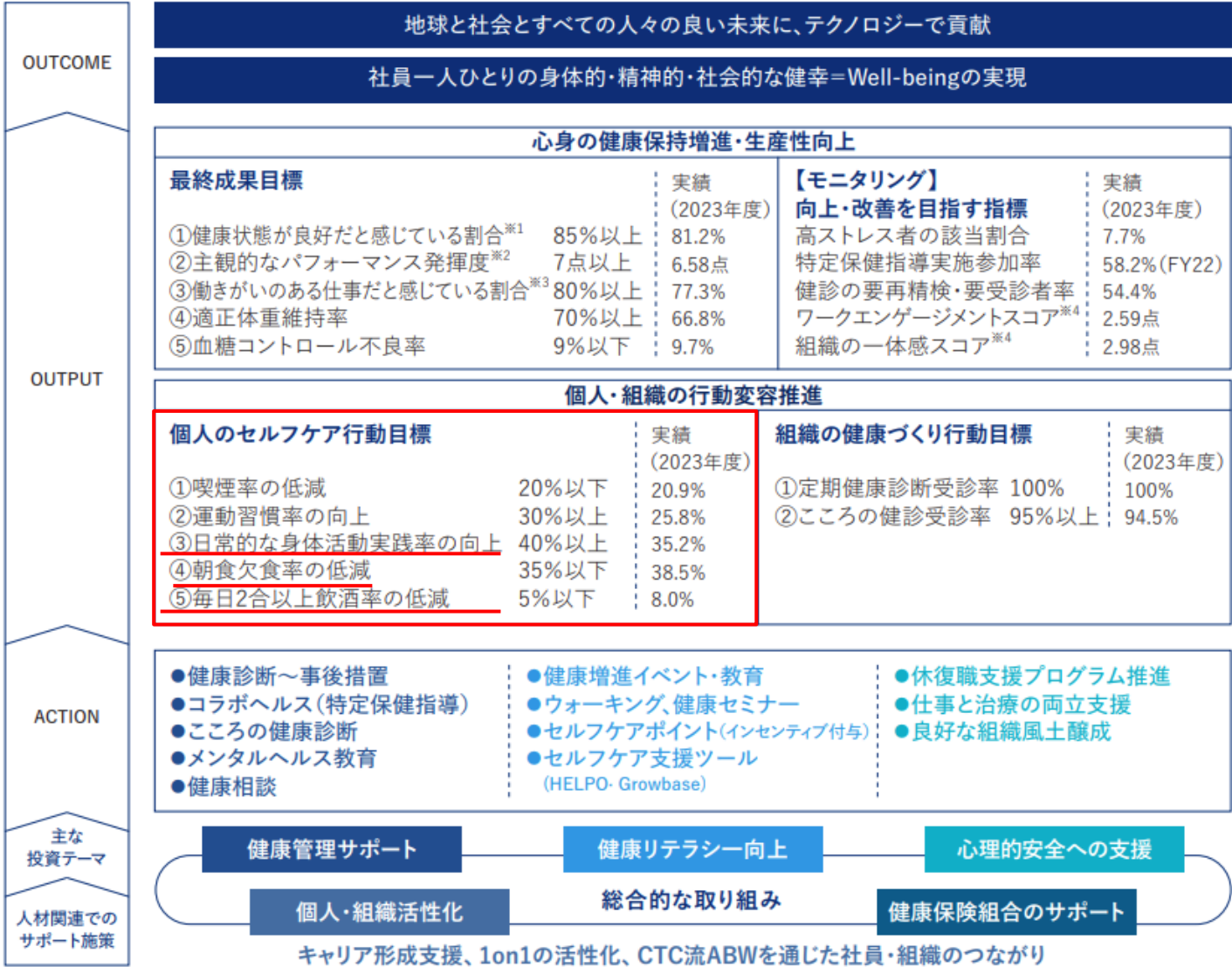
「朝食欠食」×「心身の健康」 / 「朝食欠食」×「生産性」



朝食欠食の有無群の間で、ストレス反応、主観的健康観、パフォーマンス得点に差を認めた。
特に20代において、同年代の朝食摂取群と欠食群間で各スコアの差が大きい結果となった

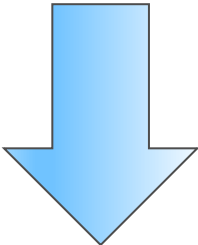
集めた健康データをどのように活用するか？ KPI設定への活用

第3期健幸経営中期計画(2024～2026年度)重点テーマ・施策・成果とモニタリング指標



重要なことは

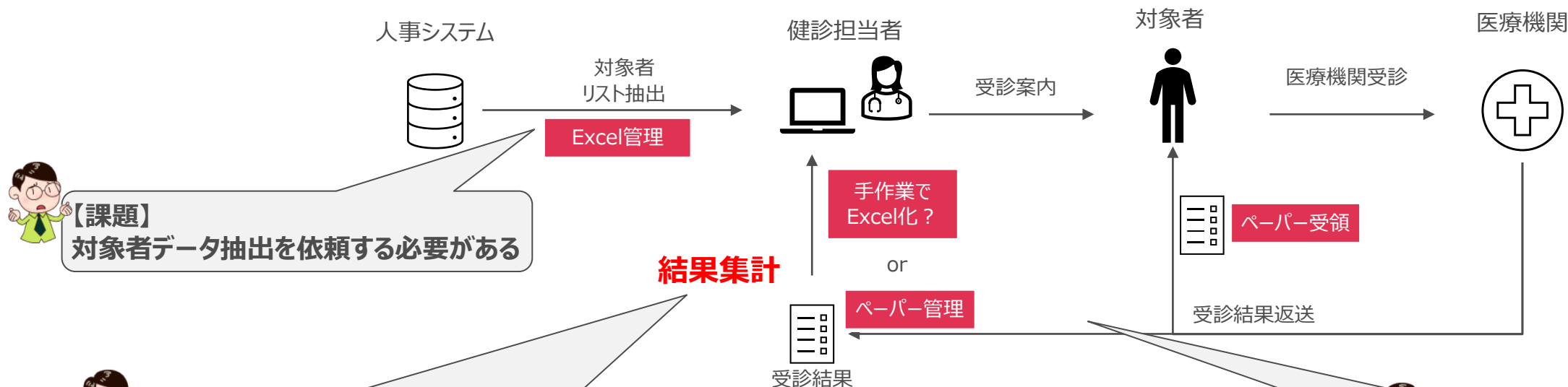
- ・欲しい時にすぐにデータにアクセスできこと
- ・欲しい切り口でデータを加工・抽出できること



そのためにデータを一元的に
統合管理しておくことが重要である。

よくあるデータ管理・結果データの集計手順について ～健診業務編～

健診業務とデータの流れ



【課題】健康経営度調査の回答に必要な項目を手動で集計

	集計有無	①2023年度	
(a) 適正体重維持者率 ※BMIが18.5～25未満の者			%
(b) 喫煙率			%
(c) 運動習慣者比率 ※1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している人の割合			%
(d) 「睡眠により十分な休養が 取れている人」の割合			%
(e) 飲酒習慣者率 ※頻度が時々または毎日かつ飲酒日の1日当たりの飲酒量が清酒換算で2合以上の人の割合			%
(f) 血圧リスク者率 ※収縮期血圧 180 mmHg以上または 拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合			%
(g) 血糖リスクと考えられる人の割合 ※空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合			%
(h) 糖尿病管理不良者率 ※HbA1cが8.0%以上の人の割合			%

	2023年度	
① 定期健康診断を受診し、問診票に回答した人数		人
② ①のうち、高血圧により治療中の人数		人
③ ②のうち、高血圧の治療中で血圧がコントロールされている（※）人数 ※収縮期血圧 140 mmHg未満かつ拡張期血圧 90 mmHg未満		人
④ ①のうち、高血圧（※）だが未治療の人数 ※収縮期血圧 160 mmHg以上または拡張期血圧 100 mmHg以上		人

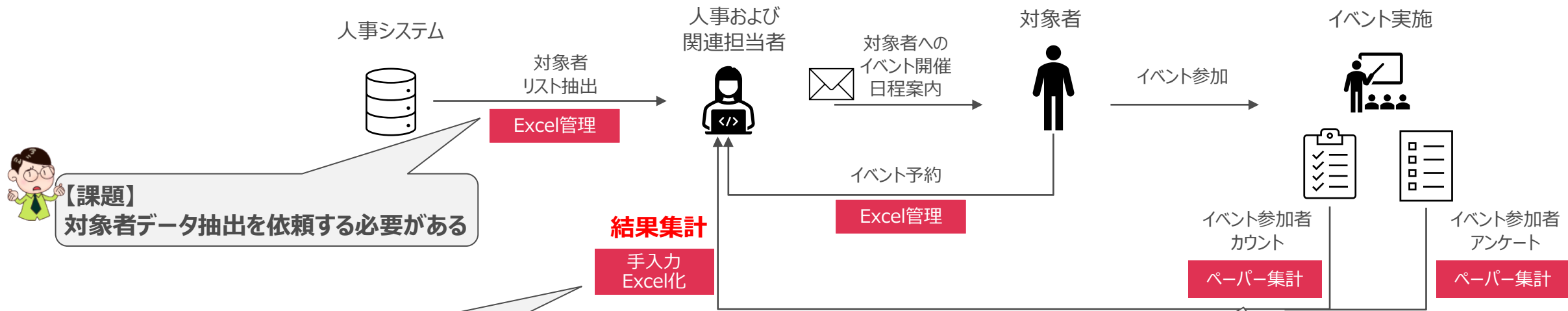
【課題】

・経年管理する場合に過去の結果を取り出すのに手間がかかる

・そもそも紙の置き場に困る
特殊健診の結果保存は30年

よくあるデータ管理・結果データの集計手順について ～各種教育・イベント開催編～

各種教育・イベントの開催における業務とデータ集計の流れ



【課題】 健康経営度調査の回答に必要な項目を手動で集計

健康経営度調査で、各種イベント、セミナー、研修などの参加率を問う設問も多い…

- ・Q41：従業員の健康保持・増進に関する教育セミナー研修の対象者比率/参加比率
- ・Q45：男性の育児休業取得を促す管理職研修への参加率
- ・Q47：介護に関する研修への参加率
- ・Q48：コミュニケーション促進のための施策の対象者比率/参加比率
- ・Q53：食生活改善に向けた取り組みの対象者比率/参加比率
- ・Q54：運動習慣の定着に向けた具体的な支援の対象者比率/参加比率
- ・Q56：女性特有の健康関連課題について

【課題】 人事スタッフ複数名が会場に拘束され、工数が掛かる



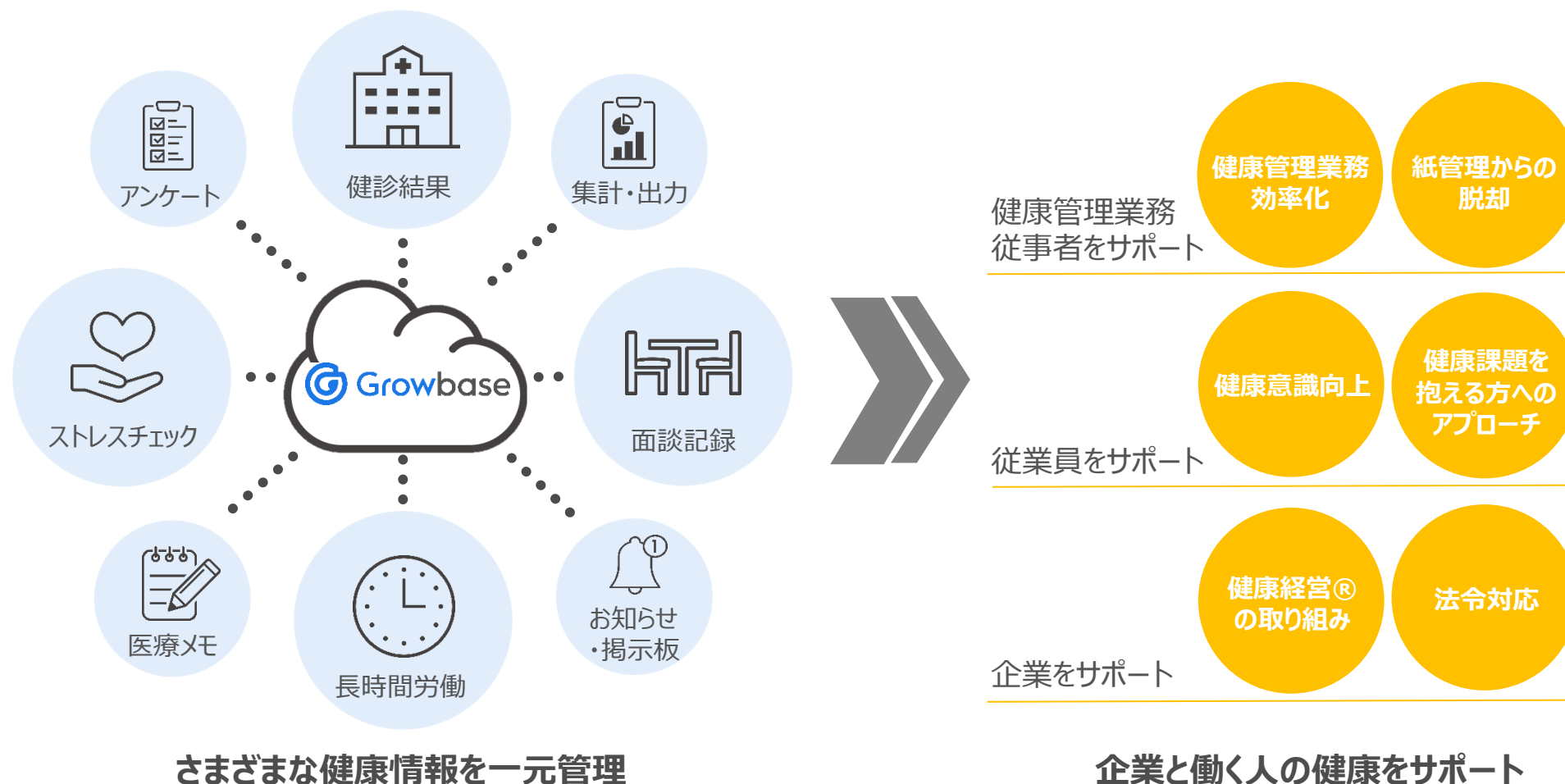
【課題】 イベント実施後のアンケート実施など、集計が必要な場合の紙管理

すぐにデータにアクセスし分析できない現状

本質的な健康管理を行うための業務改善手法

データ管理のご案内

Growbaseは、アナログで可視化しにくい健康管理情報をデジタル化&一元化し、働く人の健康と企業の成長を支える健康管理クラウドサービスです



データ管理による課題解決

健康経営度調査の回答対応

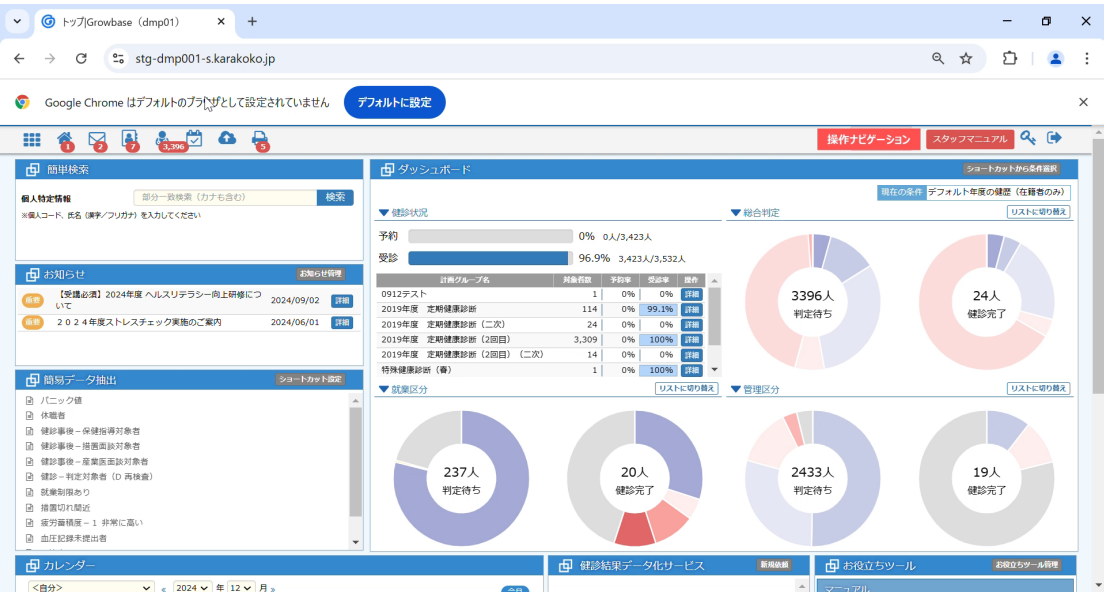
定期健診結果に関する設問

	集計有無	①2023年度	
(a) 適正体重維持者率 ※BMIが18.5～25未満の者			%
(b) 喫煙率			%
(c) 運動習慣者比率 ※1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している人の割合			%
(d) 「睡眠により十分な休養が 取れている人」の割合			%
(e) 飲酒習慣者率 ※頻度が時々または毎日かつ飲酒日の1日当たりの飲酒量が清酒換算で2合以上の人の割合			%
(f) 血圧リスク者率 ※収縮期血圧 180 mmHg以上または 拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合			%
(g) 血糖リスクと考えられる人の割合 ※空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合			%
(h) 糖尿病管理不良者率 ※HbA1cが8.0%以上の人の割合			%



集計機能

事業場ごと、性別や年代ごとに細かく集計が可能です。
会社や特定の事業場が抱える健康課題の発見につながります。





操作ナビゲーション

スタッフマニュアル



簡単検索

個人特定情報

部分一致検索 (カナも含む)

検索

※個人コード、氏名 (漢字/フリガナ) を入力してください

お知らせ

お知らせ管理

- 重要** 【受講必須】2024年度 ヘルスリテラシー向上研修について 2024/09/02 [詳細](#)
- 重要** 2024年度ストレスチェック実施のご案内 2024/06/01 [詳細](#)

簡易データ抽出

ショートカット設定

- 📁 パニック値
- 📁 休職者
- 📁 健診事後－保健指導対象者
- 📁 健診事後－措置面談対象者
- 📁 健診事後－産業医面談対象者
- 📁 健診－判定対象者 (D 再検査)
- 📁 就業制限あり
- 📁 措置切れ間近
- 📁 疲労蓄積度－1 非常に高い
- 📁 血圧記録未提出者

カレンダー

<自分> 2024 年 12 月

ダッシュボード

ショートカットから条件選択

現在の条件 デフォルト年度の健歴 (在籍者のみ)

[リストに切り替え](#)

▼ 健診状況

予約 0% 0人/3,423人

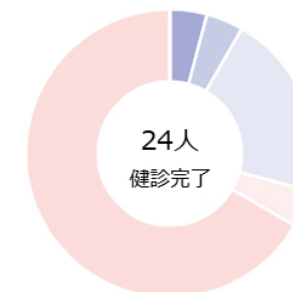
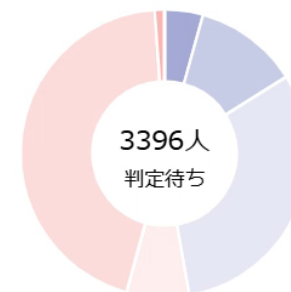
受診 96.9% 3,423人/3,532人

計画グループ名	対象者数	予約率	受診率	操作
0912テスト	1	0%	0%	詳細
2019年度 定期健康診断	114	0%	99.1%	詳細
2019年度 定期健康診断 (二次)	24	0%	0%	詳細
2019年度 定期健康診断 (2回目)	3,309	0%	100%	詳細
2019年度 定期健康診断 (2回目) (二次)	14	0%	0%	詳細
特殊健康診断 (春)	1	0%	100%	詳細

▼ 就業区分

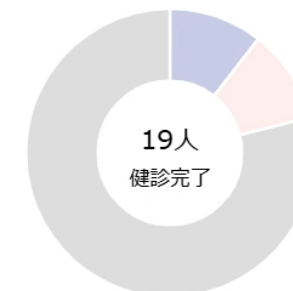
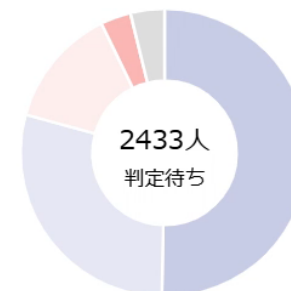
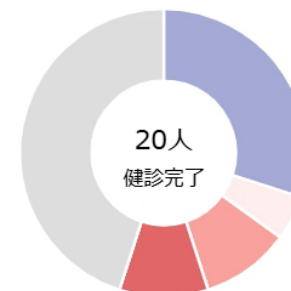
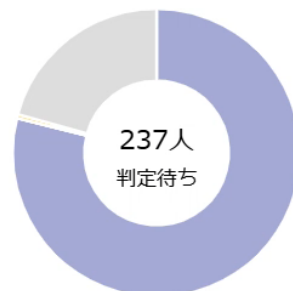
[リストに切り替え](#)

▼ 総合判定



[リストに切り替え](#)

▼ 管理区分



[リストに切り替え](#)

健診結果データ化サービス

新規依頼

お役立ちツール

お役立ちツール管理

マニュアル

データ管理による課題解決

◆ 健康診断業務

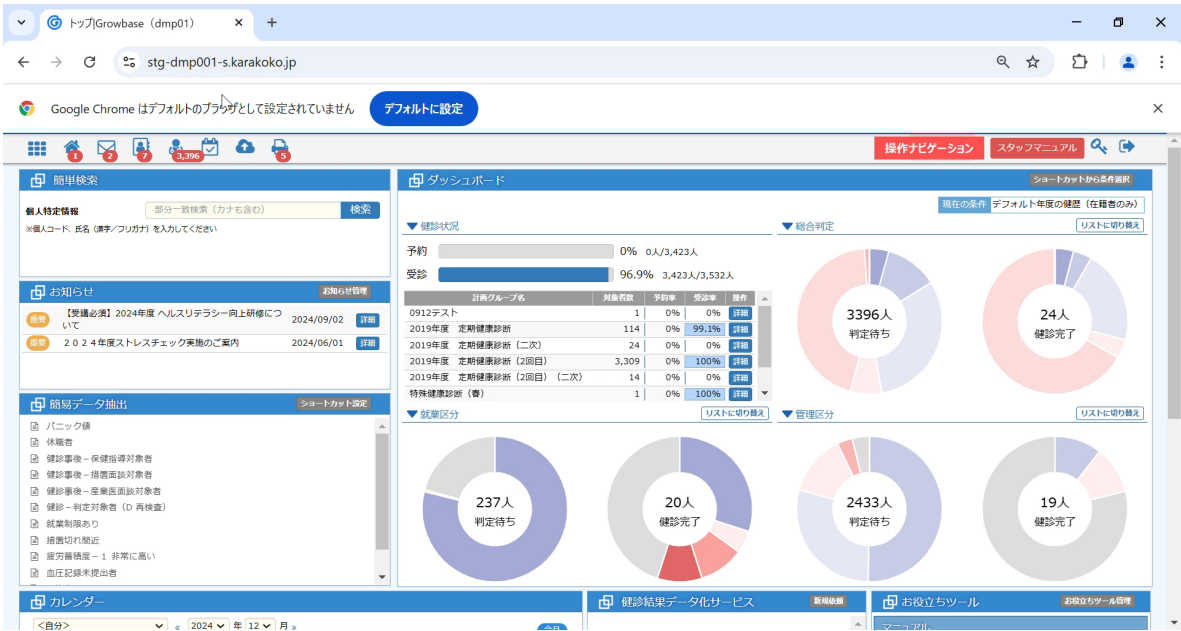
定期健診結果を踏まえた治療状況の把握に関する設問

	2023年度	
① 定期健康診断を受診し、問診票に回答した人数		人
② ①のうち、高血圧により治療中の人数		人
③ ②のうち、高血圧の治療中で血圧がコントロールされている（※）人数 ※収縮期血圧 140 mmHg未満かつ拡張期血圧 90 mmHg未満		人
④ ①のうち、高血圧（※）だが未治療の人数 ※収縮期血圧 160 mmHg以上または拡張期血圧 100 mmHg以上		人



検索機能

柔軟に設定できる検索が可能です。
例えば、検査項目のひとつひとつの数値などで検索することができるから、特定の健康課題を抱える人のピックアップも簡単です。





簡単検索

個人特定情報

部分一致検索 (カナも含む)

検索

※個人コード、氏名(漢字/フリガナ)を入力してください

お知らせ

お知らせ管理

- 重要** 【受講必須】2024年度ヘルスリテラシー向上研修について 2024/09/02 [詳細](#)
- 重要** 2024年度ストレスチェック実施のご案内 2024/06/01 [詳細](#)

簡易データ抽出

ショートカット設定

- ☐ パニック値
- ☐ 休職者
- ☐ 健診事後－保健指導対象者
- ☐ 健診事後－措置面談対象者
- ☐ 健診事後－産業医面談対象者
- ☐ 健診－判定対象者 (D 再検査)
- ☐ 就業制限あり
- ☐ 措置切れ間近
- ☐ 疲労蓄積度－1 非常に高い
- ☐ 血圧記録未提出者

カレンダー

<自分> 2024 年 12 月

ダッシュボード

ショートカットから条件選択

現在の条件 デフォルト年度の健康 (在籍者のみ)

[リストに切り替え](#)

▼ 健診状況

予約 0% 0人/3,423人

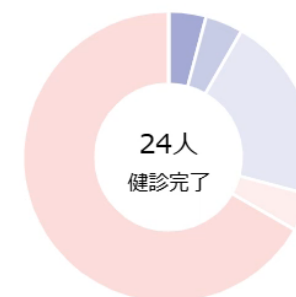
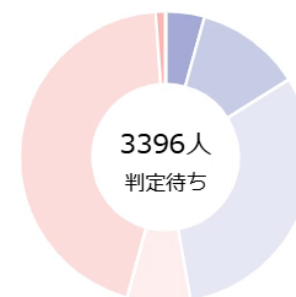
受診 96.9% 3,423人/3,532人

計画グループ名	対象者数	予約率	受診率	操作
0912テスト	1	0%	0%	詳細
2019年度 定期健康診断	114	0%	99.1%	詳細
2019年度 定期健康診断 (二次)	24	0%	0%	詳細
2019年度 定期健康診断 (2回目)	3,309	0%	100%	詳細
2019年度 定期健康診断 (2回目) (二次)	14	0%	0%	詳細
特殊健康診断 (春)	1	0%	100%	詳細

▼ 就業区分

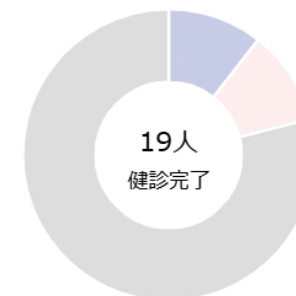
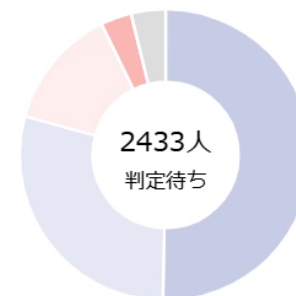
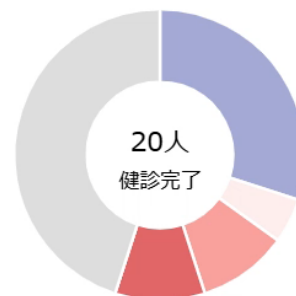
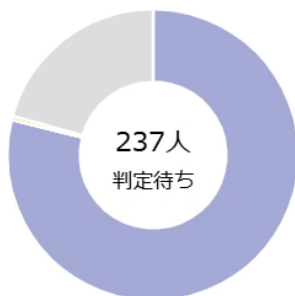
[リストに切り替え](#)

▼ 総合判定



▼ 管理区分

[リストに切り替え](#)



健診結果データ化サービス

新規依頼

お役立ちツール

お役立ちツール管理

マニュアル

データ管理による課題解決

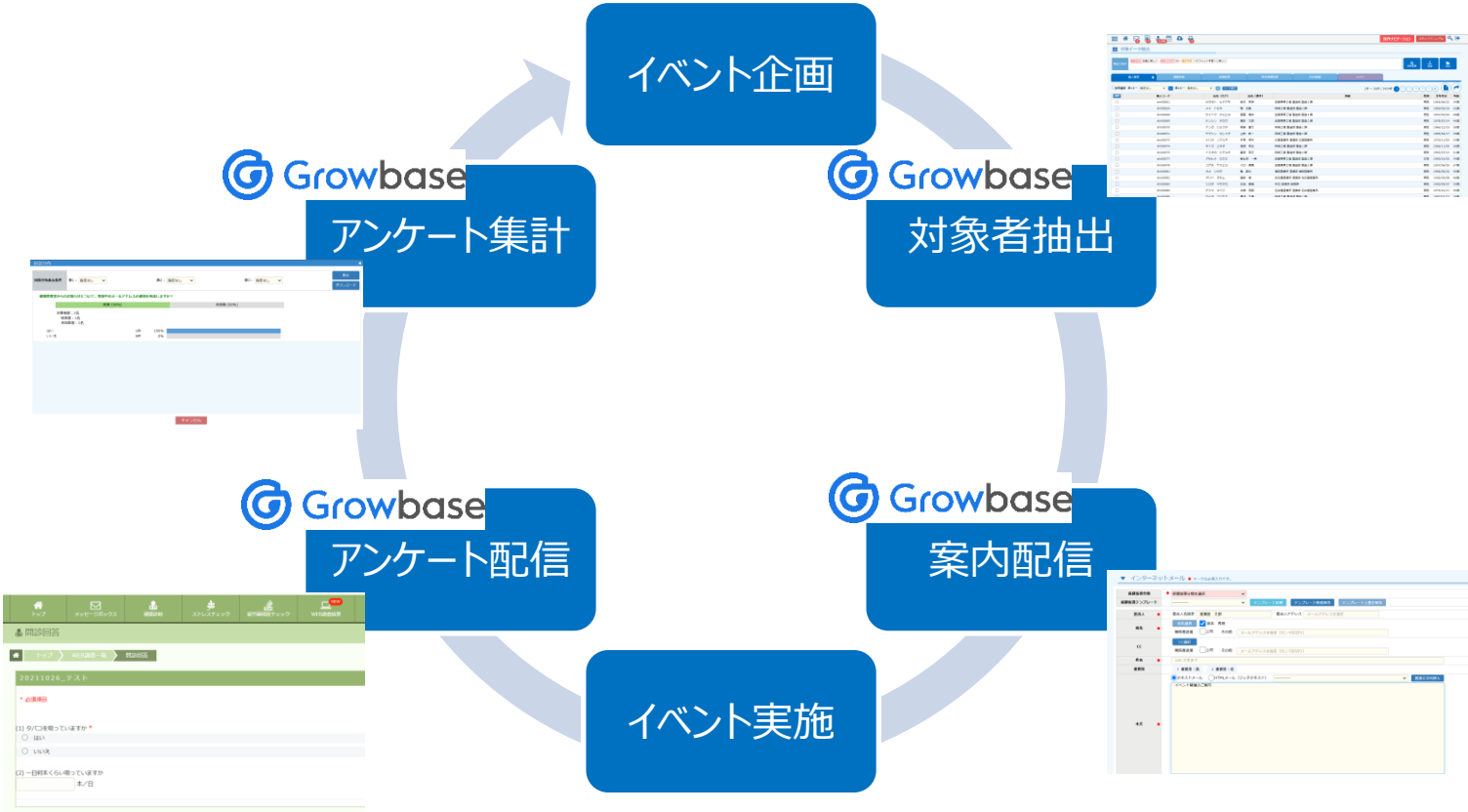
◆ イベント・教育開催

メール配信・アンケート機能

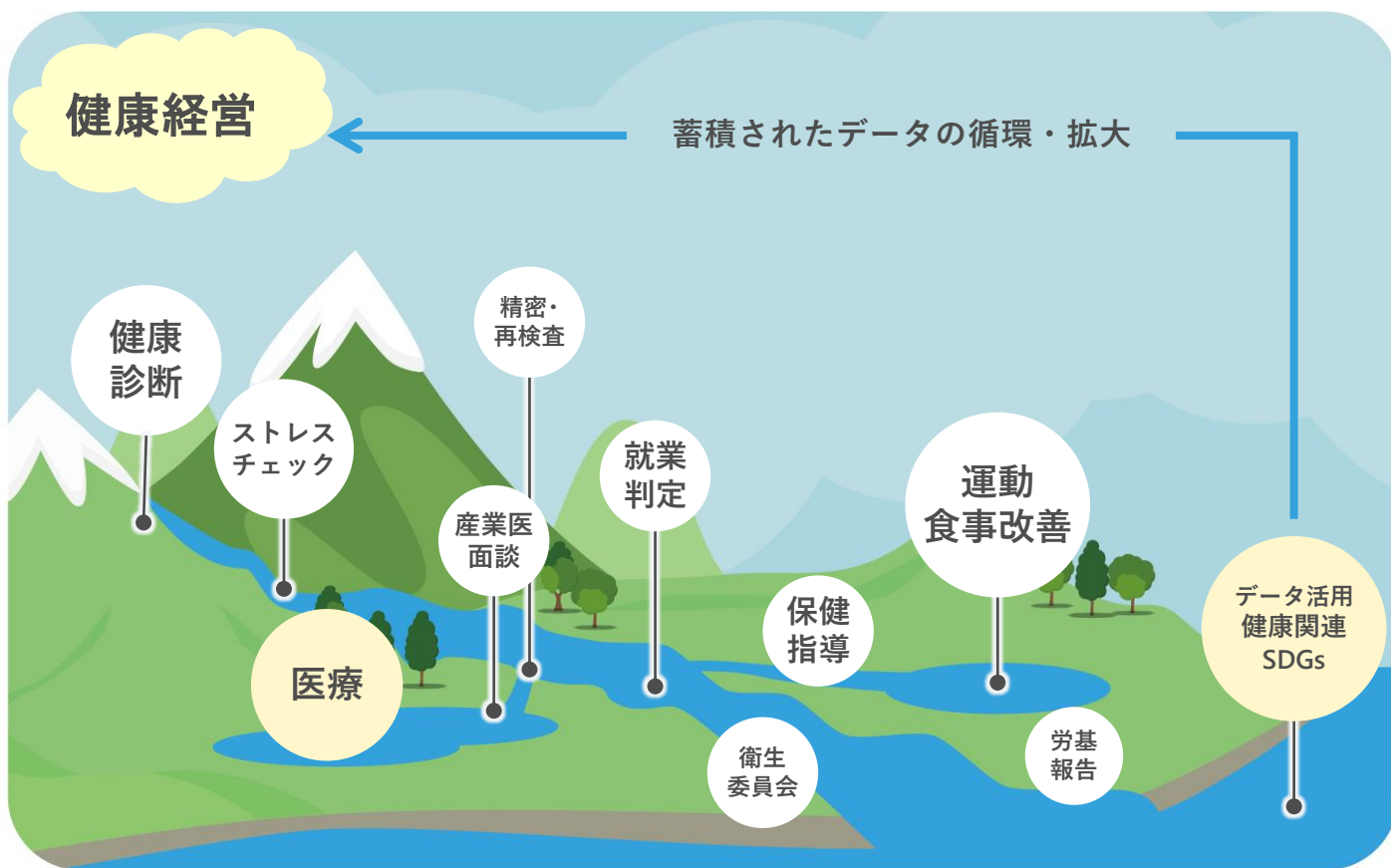
イベント・教育も簡単に設定可能です。
従業員マイページへ案内を掲載し、イベント周知。また、イベント終了後のアンケートを参加者へ配信し可能です。

イベントの対象者・参加率

	2023年度	
(a) 対象者の比率		%
※全従業員に占める対象者の割合		
★(b) 参加者の比率		%
※対象者に占める参加者の割合		



～本質的な健康経営の実現に向けて～



健康経営優良法人の取得

自社従業員の健康状態の可視化

健康データの分析・活用し
自社の健康課題を明確化

健康課題への適切なアプローチと
計画の確実な実行

課題に対する効果計測・結果分析

健康経営の実現

ご清聴ありがとうございました。